

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	調布市総合福祉センター 放課後等デイサービスぴっころ		
○保護者評価実施期間	2026年2月12日		2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年3月19日		2026年3月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽療法を通じて、子ども一人ひとりの発達特性に応じた、きめ細やかで丁寧な支援を提供している	●音楽療法は複数の音楽療法士が担当し、子どもの意思を尊重しながら特性にあった活動を提供している。	●音楽療法士、職員、介護員(事業協力者)で支援目標や取組の状況の共有をさらに丁寧に行い、チームで統一した支援ができるようにする。
2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を確認しながら個別性を尊重した支援をしている	●子どもには介護員(事業協力者)が一对一で対応しており、手厚い人員配置となっている。 ●絵カード等を使い、子どもの意思を丁寧に確認している。子ども一人ひとりにあった玩具で遊ぶ時間を大切にしている。	●児童福祉法に基づいた適正な職員配置を継続していく。 ●スタッフ全員が子どもの権利を尊重した支援を引き続き提供できるように、子どもの権利をテーマにした研修を検討する。
3	子どもの生活空間が清潔で、活動に合わせた空間となっている。	●掃除、片付け、消毒をこまめに行い、清潔な空間を維持している。 ●季節に合わせた掲示を行い、子どもが楽しめるようにしている。 ●本棚やおもちゃ箱、ソファなどをごどもの目線に合わせた配置にしており、わかりやすく片付けやすい工夫をしている。	●日常的に点検を行い、安全対策を講じていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの生活空間が夏場は暑くなり、心地よく過ごせる環境になっていない	●ビルの5階にあり窓が大きく、フロアごとに温度管理するため個別に調整できない。	●シェードを新しいものに買い替え、窓に遮光・遮熱フィルム張る等、現在の設備で可能な範囲で対応を行う。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	●保護者のニーズが低いことや安全の確保ができないことから、実施していない。	●子ども同士の直接的な交流ではなく、作品展示等を通じた交流等、安全性を考慮したうえで実施できるものを検討する。
3	保護者同士の交流の機会やきょうだい向けのイベント、きょうだい同士の交流の機会を設けていない	●保護者や子どもの個別の支援に重点を置いているため、保護者やきょうだい同士の交流については取り組むことができていない。	●研修等を通じて、きょうだい児に関する理解を深める。 ●必要に応じて「調布心身障害児・者親の会」について情報提供する。 ●個別支援のなかで保護者自身やきょうだい児にどのようなニーズがあるか把握する。